

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	札幌科学技術専門学校
設置者名	学校法人 総合技術学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	建築技術学科	夜・通信	1122	160	
	自然環境学科	夜・通信	986	160	
	バイオテクノロジー学科	夜・通信	1156	160	
	海洋生物学科	夜・通信	816	160	
	電気技術学科	夜・通信	748	160	
	情報システム学科	夜・通信	1972	160	
	自動車工学科 二級自動車整備士コース	夜・通信	1698	160	
	自動車工学科 自動二輪車コース	夜・通信	442	160	
	自動車工学科 二級自動車整備士コース	夜・通信	1960	135	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.s-kagisen.ac.jp/disclosure/work_experience2021.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	札幌科学技術専門学校
設置者名	学校法人 総合技術学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.s-kagisen.ac.jp/disclosure/executive2021.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2020.4.1～ 2023.3.31	コンプライアンス担当
非常勤	道立高校校長	2020.4.1～ 2023.3.31	学校教育担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	札幌科学技術専門学校
設置者名	学校法人 総合技術学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 学科ごとにそれぞれの業界の変化を見据え、関係する企業や就職支援室などと情報を共有し、求められる知識と技術について検討した上で、カリキュラムや授業の内容に反映している。 教務規定に定められた成績評価の方法や基準に基づき、科目ごとの評価基準を作成して授業計画(シラバス)に明記している。シラバスの詳細は年度初めのオリエンテーションにて学生に説明している。	
授業計画書の公表方法	https://www.s-kagisen.ac.jp/disclosure/syllabus2021.pdf
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 単位認定に当たっては、教務規定にて出席時間数や成績評価基準が明確に定められており、各科目において必要な時間数の出席、試験やレポートなどの評価基準を満たした学生に単位を認定している。これらの規定について、「学生生活のしおり」にも記載し、入学後のオリエンテーションにて配布・説明をしている。	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 教務規定にて成績評定を4段階(優・良・可・不可)と定め、その判定基準も明確化し、教務便覧(専任教員用・非常勤講師用)に記載している。また、これらの基準について学生配布用の「学生生活のしおり」にも記載し、オリエンテーション等で周知している。成績の順位については、各科目の評定を点数配分(0点～4点)し、G P Aを用いて行っている。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.s-kagisen.ac.jp/disclosure/gpa2021.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 教務規定に厳しく定められており、教務便覧および「学生生活のしおり」に記載し、入学式をはじめオリエンテーションにて説明・周知している。また、これを厳格に運用するため様々な資料を基に、卒業認定会議(校長・教務部長・各学科長・各担任)を行って卒業を認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.s-kagisen.ac.jp/disclosure/authorization.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	札幌科学技術専門学校
設置者名	学校法人 総合技術学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.s-kagisen.ac.jp/disclosure/balancesheet2021.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.s-kagisen.ac.jp/disclosure/incomestatement2021.pdf
財産目録	https://www.s-kagisen.ac.jp/disclosure/propertylist2021.pdf
事業報告書	https://www.s-kagisen.ac.jp/disclosure/businessreport2021.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.s-kagisen.ac.jp/disclosure/auditreport2021.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	建築技術学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2244 単位時間	1190 <small>単位時間</small>	136 <small>単位時間</small>	918 <small>単位時間</small>	<small>単位時間</small>	<small>単位時間</small>
			2244 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		31人	0人	1人	10人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 科目ごとの授業計画（シラバス）に記載し、年度初めのオリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験・レポート・出席状況を総合的に評価する。詳しくはシラバス参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年ごとのすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
（概要） 担任制による個別支援、資格試験前には放課後等を利用したの対策授業を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	1人 (7.1%)	12人 (85.8%)	1人 (7.1%)
（主な就職、業界等） ハウスメーカー、建築設計事務所、測量、建築設備業、家具・建具製作			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、履歴書作成指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 二級建築士（受験資格）、二級建築施工管理士、二級管工事施工管理技士、CAD利用技術者			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33人	1人	3.0%
（中途退学の主な理由） 経済状況悪化による進路変更。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任および学生支援センターによる個別相談、保護者との連携。また、中退者の就職に関して就職支援室がサポートしている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門課程	自然環境学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2006 単位時間	1218	170	652		
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			2040 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	22人	0人	2人	13人	15人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 科目ごとの授業計画（シラバス）に記載し、年度初めのオリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験・レポート・出席状況を総合的に評価する。詳しくはシラバス参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年ごとのすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
（概要） 担任制による個別支援、資格試験前には放課後等を利用しての対策授業を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	1人 (8.3%)	9人 (75.0%)	2人 (16.7%)
（主な就職、業界等） 自然環境調査・環境建設コンサルタント、造園、農業、環境教育			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、履歴書作成指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 生物分類技能検定、技術士補（環境）、公害防止管理者、2級ビオトープ管理士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25人	1人	4.0%
（中途退学の主な理由） 学習意欲低下による。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任および学生支援センターによる個別相談、保護者との連携。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門課程	バイオテクノロジー学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1870 単位時間	1088	34	1122		
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			2244 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	24人	0人	1人	12人	13人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 科目ごとの授業計画（シラバス）に記載し、年度初めのオリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験・レポート・出席状況を総合的に評価する。詳しくはシラバス参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年ごとのすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
（概要） 担任制による個別支援、資格試験前には放課後等を利用しての対策授業を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	1人 (20.0%)	4人 (80.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 食品製造・品質管理、薬品・医薬品製・品質検査、臨床検査			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、履歴書作成指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 中級バイオ技術者、毒物劇物取扱責任者、フードサイエンティスト			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	1人	5.6%
（中途退学の主な理由） 進路変更（大学進学）による。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任および学生支援センターによる個別相談、保護者との連携。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		専門課程	海洋生物学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1870 単位時間	1472 単位時間	22 単位時間	376 単位時間	
			1870 単位時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40人		35人	0人	2人	7人	9人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 科目ごとの授業計画（シラバス）に記載し、年度初めのオリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験・レポート・出席状況を総合的に評価する。詳しくはシラバス参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年ごとのすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
（概要） 担任制による個別支援、資格試験前には放課後等を利用しての対策授業を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 (100%)	0人 (0.0%)	17人 (94.4%)	1人 (5.6%)
（主な就職、業界等） 水産増養殖、地方自治体（水産職）、水産卸売、海洋開発・調査分析、水族館、観賞魚販売			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、履歴書作成指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 二級小型船舶操縦士、潜水土、ダイビングライセンス、生物分類技能検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任および学生支援センターによる個別相談、保護者との連携。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門課程	電気技術学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2040 単位時間	1258	272	510		
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
2040 単位時間			2040 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	36人	0人	3人	8人	11人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 科目ごとの授業計画（シラバス）に記載し、年度初めのオリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験・レポート・出席状況を総合的に評価する。詳しくはシラバス参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年ごとのすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
（概要） 担任制による個別支援、資格試験前には放課後等を利用しての対策授業を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24人 (100%)	0人 (0.0%)	19人 (97.2%)	5人 (20.8%)
（主な就職、業界等） 電力・発電、電気工事・施工、通信工事、電気製品修理・販売、運輸・交通			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、履歴書作成指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 一種電気工事士、第二種電気工事士、第三種電気主任技術者、2級電気工事施工管理技士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49人	2人	4.1%
（中途退学の主な理由） 経済状況の悪化、学習意欲低下による。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任および学生支援センターによる個別相談、保護者との連携。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門課程	情報システム学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1904 単位時間	629 単位時間	374 単位時間	1275 単位時間	2278 単位時間	
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	45人	0人	3人	4人	7人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 科目ごとの授業計画（シラバス）に記載し、年度初めのオリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験・レポート・出席状況を総合的に評価する。詳しくはシラバス参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年ごとのすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
（概要） 担任制による個別支援、資格試験前には放課後等を利用しての対策授業を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 (100%)	3人 (16.7%)	10人 (55.6%)	5人 (27.7%)
（主な就職、業界等） ソフトウェア・システム開発、システム運用、情報通信業、パソコン販売			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、履歴書作成指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 応用情報技術者、基本情報技術者、情報セキュリティマネジメント、ITパスポート			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41人	3人	7.3%
（中途退学の主な理由） 経済状況の悪化、学業不振、学習意欲低下による。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任および学生支援センターによる個別相談、保護者との連携。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門課程	自動車工学科 二級自動車整備士コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1994 単位時間	714 単位時間		1280 単位時間		
			1994 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
200人	105人	0人	11人(昼兼務)	1人	13人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 科目ごとの授業計画(シラバス)に記載し、年度初めのオリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
(概要) 試験・レポート・出席状況を総合的に評価する。詳しくはシラバス参照。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学年ごとのすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
(概要) 担任制による個別支援、資格試験前には放課後等を利用しての対策授業を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36人 (100%)	0人 (0.0%)	36人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 自動車販売ディーラー、自動車メーカー、自動車設計・開発			
(就職指導内容) キャリアカウンセリング、履歴書作成指導、面接指導			
(主な学修成果(資格・検定等)) 二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、中古車査定士、アーク溶接技能特別教育、ガス溶接技能講習			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
98人	6人	6.1%
(中途退学の主な理由) 学業不振、経済状況の悪化、進路変更による。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任および学生支援センターによる個別相談、保護者との連携。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門課程	自動車工学科 自動二輪車コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1994 単位時間	714 単位時間	単位時間	1280 単位時間	単位時間	単位時間
			1994 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	4人	0人	2人	1人	3人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 科目ごとの授業計画（シラバス）に記載し、年度初めのオリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験・レポート・出席状況を総合的に評価する。詳しくはシラバス参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年ごとのすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
（概要） 担任制による個別支援、資格試験前には放課後等を利用しての対策授業を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 自動二輪車販売ディーラー、自動二輪車開発・設計、自動車整備業			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、履歴書作成指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 二級二輪自動車整備士、二級ガソリン自動車整備士、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	1人	33.3%
（中途退学の主な理由） 学修意欲の低下による。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任および学生支援センターによる個別相談、保護者との連携。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門課程	自動車工学科 二級自動車整備士コース(夜)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	1960 単位時間	680 単位時間		1280 単位時間		
			1960 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	29人	0人	11人(昼兼務)	1人	13人		

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 科目ごとの授業計画(シラバス)に記載し、年度初めのオリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
(概要) 試験・レポート・出席状況を総合的に評価する。詳しくはシラバス参照。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学年ごとのすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
(概要) 担任制による個別支援、資格試験前には放課後等を利用しての対策授業を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	0人 (0.0%)	7人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 自動車販売ディーラー、自動車メーカー、自動車設計・開発			
(就職指導内容) キャリアカウンセリング、履歴書作成指導、面接指導			
(主な学修成果(資格・検定等)) 二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、中古車査定士、アーク溶接技能特別教育、ガス溶接技能講習			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任および学生支援センターによる個別相談、保護者との連携。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
建築技術学科	150,000 円	420,000 円	477,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
自然環境学科	150,000 円	420,000 円	477,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
バイオテクノロジー学科	150,000 円	420,000 円	477,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
海洋生物学科	150,000 円	420,000 円	477,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
電気技術学科	150,000 円	420,000 円	477,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
情報システム学科	150,000 円	420,000 円	477,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
自動車工学科 (二級自動車整備士コース)	150,000 円	460,000 円	617,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
自動車工学科 (自動二輪車コース)	150,000 円	420,000 円	567,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
自動車工学科 (二級自動車整備士コース 夜間)	150,000 円	300,000 円	387,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
修学支援 (任意記載事項)				
授業料減免制度 (特待生制度、AO入試制度、特別奨学生制度・経済支援制度)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.s-kagisen.ac.jp/disclosure/self-estimation2021.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
自己評価の結果を踏まえ、ポイントの低い項目について自らが策定した改善策について、具体的な取り組みが適切であるか・達成状況はどうかなどについて助言および総合的に評価していただくことを基本とする。これを実現するために委員会実施時 (令和3年度は2回を予定) には学校側からもその都度適任者を追加で選任する。令和2年度における改善状況について評価及びアドバイスをいただき、HPにて公表している。 令和3年度においては特に財務基盤・施設設備の整備計画や状況、関連分野との連携 (教育課程) について改善状況等をお知らせしていただくとともにアドバイスをいただく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
小樽双葉高等学校 教頭	2021.4.1 ~ 2023.3.31	中学・高校関係者
北第百通信電気株式会社 代表取締役	2021.4.1 ~ 2023.3.31	企業・業界団体関係者
札幌市中央区西17丁目町内会長	2021.4.1 ~ 2023.3.31	地域住民 (町内会)
専門課程 第4期卒業生	2021.4.1 ~ 2023.3.31	卒業生
専門課程 自動車工学科 保護者	2021.4.1 ~ 2023.3.31	在校生保護者 (PTA)
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.s-kagisen.ac.jp/disclosure/stakeholder-assessment2021.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://www.s-kagisen.ac.jp

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	札幌科学技術専門学校
設置者名	学校法人 総合技術学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		69人	65人	72人
内 訳	第Ⅰ区分	44人	38人	
	第Ⅱ区分	11人	16人	
	第Ⅲ区分	14人	11人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				72人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に 連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）
の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-人
3月以上の停学	0人
年間計	-人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	-人	-人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	-人	0人
計	人	-人	-人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。